

欧米で自衛隊 CM?

標題は中日新聞 8 月 2 日朝刊「特報」。リードから一政府が欧米のテレビ局で自衛隊の活躍を宣伝する CM を放映し、在外邦人らの間で波紋を広げている。日本の技術力や国際貢献を伝える広報活動の一環だが、自衛隊の海外派遣拡大に異論も噴出している中、政治的な意図を疑う声は多い。大半の CM の最後に登場するのは、首相「シンゾー・アベ」の姿。日本の印象をどうしたいのか。

アフリカ東部のソマリア沖アデン湾での海上自衛隊の活動をアピールする約 1 分間の CM の最後は、安倍晋三首相の画像を重ねた「日本は世界に貢献していく」の文字で締めくくられる。今年 4 月にこの CM を見て「ぎょっとした」というイタリア在住の翻訳家斎藤ゆかりさん (57) は『軍隊』を自慢げに PR しているように見える。しかも首相がしゃしゃり出てくるなど、どこの独裁国家かという印象」と違和感を隠せない。「観光 CM はあっても、産業を自慢するような他国の CM は見たことがない。日本がこんなに貢献しているというアピールは赤面もの。安倍首相個人のメッセージを税金を使って流しているように見える」と嘆く。実際、同様の映像には、フランスなどでも視聴者から疑問の声が相次いでいる。

海外のメディア事情に詳しいビデオニュース・ドットコム代表のジャーナリスト神保哲生氏は「海外で他国の『軍隊』の活動をテレビ CM で宣伝するのを見たことがない」と指摘し、首相まで登場させる内容は「異様に感じる」。

「日本について海外で知られていないことがまだまだある中で、いきなりこのような CM が流されると、日本のイメージがゆがめられる恐れがある。アメリカで日本以外の他国政府の CM が流れることはあるが、首相や大統領が出てくるという CM は見たことがない。日本という国を宣伝しようというのに、なぜ首相が登場するのか。そこに違和感を持っている人は海外にもいる」

昨年 8 月のリオデジャネイロ五輪閉会式で安倍首相が、任天堂の人気ゲームのキャラクター「マリオ」にふんして「五輪の政治利用」と批判された例を挙げながら、「税金が使われているのだから、CM にどのような意図があり、だれが決済したのかなどを国会で明らかにするべきだ」と訴える。



(2017 年 8 月 10 日)